

国内最大規模で甲子園球場6個分の敷地は1日かかっても遊びきれない広さだ

六甲山のアスレチック施設 あすリニューアルオープン



国内最大級の屋外アスレチック施設「六甲山アスレチックパーク・グリーンア」(神戸市灘区六甲山町)がリニューアルし、19日から今季の営業を再開する。デザインがユニークだったり、写真撮影に映えたりする遊具が登場し、より楽しめる要素が満載だ。(津谷治英)

「池に落ちそう!」。子どもたちが思わず叫ぶ水上エリア=いずれも神戸市灘区六甲山町、六甲山アスレチックパーク・グリーンア

心躍る遊具 遊び尽くせ



海外の街の路地裏をイメージし写真、動画撮影に人気を呼びそうな巨大壁



長さ200m以上。風を切って空中飛行が楽しめるジップスライド



強い握力が求められる難易度の高い遊具も

「カップルも家族連れも楽しめる」

海外の街の路地裏をイメージし写真、動画撮影に人気を呼びそうな巨大壁
ヤッホイは、海外の街の

21年夏、入場者らに夢のある遊具をテーマに募ったアイデアを採用。本棚をデザインしたロッククライミングなど約20の遊具を刷新した。
ワンダー・ヤマンボーは
木曜定休。午前10時〜午後5時。大人3千円、中学生2千円。未就学児1千500円。グリーンア ☎078・891・0366

六甲山上の施設を運営する六甲山観光が2021年春、直営の六甲山カンツリーハウスと六甲山フィールド・アスレチックを統合して開設した。甲子園球場六つ分に匹敵する23万平方メートルの広さを誇る。同年は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、約8カ月で20万人以上が足を運んだ。
テーマごとに7エリアに分かれ、計164ポイントのアスレチック遊具を擁する。今回は六甲山フィールド・アスレチックだった場所を中心にリニューアルを展開。秘密の森をイメージした「ワンダー・ヤマンボー」、6人組の人気ユーチューバー「フィッシュヤーズ」が監修しゲーム要素を盛り込んだ「ヤッホイ」の2カ所が新しくなった。
「自然と共存しながら子どもが成長できる施設を目指すフィールド・アスレチック時代の伝統を守りつつ、カップル、家族連れも楽しめる要素を新たに加えた」とPRしている。
人気の水上エリアや、筋力、運動能力を試すマッスルエリア、200m以上の空中飛行を楽しめる迫力満点のジップスライドなど既存のエリアを含め、施設内容はより充実。広報担当者は「自然と共存しながら子どもが成長できる施設を目指すフィールド・アスレチック時代の伝統を守りつつ、カップル、家族連れも楽しめる要素を新たに加えた」とPRしている。



本棚をイメージしたクライミング遊具